

報道関係各位

特定非営利活動法人 放課後 NPO アフタースクール

アシックスと NPO 団体による、初の共同コンテンツ！ 遊びながらトレーニング！「カラダかるた」 初回限定イベント取材のご案内

日程：2020年8月12日(水)・19日(水) ※オンラインによる実施

今、『子どもの運動不足』が、社会的な問題になっています。

文部科学省の調査によると、現在の子どもたちの体力は、その親世代が子どもだった頃（30年前）に比べて大幅に下回っているとのこと。

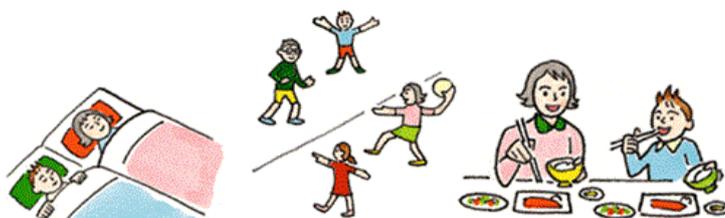
この状況を改善するためには、子どもたちが「遊びながら自然にスポーツが好きになる」継続的な運動の場を作ることが必要。そこで、放課後NPOアフタースクールはアシックスジャパン株式会社（本社 東京都江東区）と一緒に、初の共同コンテンツ「カラダかるた」を開発しました。今回は、コロナウイルス感染症対策を講じた上で体力づくりを楽しめる特別オンラインバージョンのご案内です。つきましては広くメディアの皆様にご注目いただき、ご取材いただけますと幸いです。

■なぜ？ 子どもの体力が低下している背景とは

実は、今の子どもたちの体力低下の原因はコロナ禍の影響だけではありません。

クルマや電車といった交通手段が発達したことで日常的に歩かなくなったり、オンラインゲームやSNSといったインドアなコミュニケーションが主流になる中、外で体を使って遊ぶ機会が激減。一方、昔にくらべて食生活が豊かになったことで、身長や体重は増加傾向に…。

つまり「**運動と栄養のバランス**」が崩れてきているんです。



週3日以上、運動やスポーツを実施する子どもの割合（％）の比較

男子		女子	
親の世代	今の子ども達	親の世代	今の子ども達
71.2	66.1(↓5.1)	56.3	38.6(↓17.7)

※学校の体育の授業を除く

※親の世代は昭和60年度の11歳、今の子ども達は平成30年度の11歳(さい)

出典：日本レクリエーション協会「子どもの体力低下の原因」より

■子どもたちの運動習慣は「楽しみながら」が大事

一方、多くの子どもの間では、ダンスやサッカー、ラグビーなど、楽しみながら打ち込めるスポーツに人気が集まる傾向も。遊びやゲーム感覚なら喜んで体を動かすという、子どもらしい一面が垣間見れます。

子どもたちが毎日続けたいと思えるような運動習慣を身につけるには、日常生活の中で「楽しみながら」参加できる、ゲーム感覚の場を作ることが大事！

■ゲーム感覚で、体も頭もトレーニング！「カラダかるた」って？

「カラダかるた」は、上記のような子どもたちの慢性的な運動不足を遊びながら緩和できたというアイデアから生まれました。

パラスポーツを含む38種の競技が描かれたかるたを使い、ゲーム感覚で体を動かしながら遊ぶことで、運動しながらスポーツへの知見も高めることができるという、小学生向けの画期的なプロジェクトです。

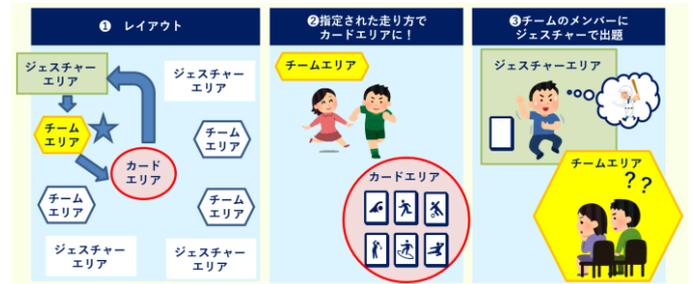
<遊び方(案)その1>

「走って正解ゲット！ スポーツ当てクイズ」



<遊び方(案)その2>

「ジェスチャーで伝えて！ エアスポーツ神経衰弱」



進行役が出題したクイズの正解を当てよう！正解がわかったら、描かれたかるたがあるエリアまで全力ラン！
とった枚数がいちばん多かったチームが勝ち。

まずはカードを1枚選び、ジェスチャーエリアで競技を表現！より多くのカードを当てたチームが勝ち！エアスポーツでしっかり汗をかいちゃおう。



■「カラダかるた」3つのポイント

●Point 1 遊びながら「体力」がつく！

「かるた」という皆が知っている遊びに、トレーニングやジェスチャーなどの「動き」をプラスすることで、誰でも楽しみながら、いつのまにか体を動かすことができます。

●Point 2 クイズ&ジェスチャー遊びで「考えるチカラ」がつく！

クイズを考えたり、ジェスチャーをすることは、頭のトレーニングにぴったり。相手に伝えるための「語彙力」や、カラダで表現する「表現力」が鍛えられます。

●Point 3 チームプレーで「協調性」がつく！

かるたは、基本的にチームで行う遊び。仲間と一緒に考えて、対戦することでチームワークが生まれ、協調性が育まれます。

■トライアル参加団体から「楽しかった！」の声がたくさん届いています！

「カラダかるた」のトライアルに参加した団体からは、「今まで知らなかったスポーツを知ることができて楽しかった！」「子ども同士がスポーツのジェスチャーを通じて他の学童とつながることができた」といった感想が続々寄せられました。かるたを通じて子どもがスポーツに親しむきっかけになったことがわかります。

また「かるたで遊びながら、いつのまにか汗をかいていた」「オンラインで実施できるので、三密を避けながら皆と一緒に体を動かせる」「定期的に運動をするきっかけとして、また実施したい」など、子どもたちの運動習慣の定着にも役立っているようです。

◆「カラダかるた」取材のご案内◆

日時：2020年8月12日（水）19日（水）いずれも10:30～30分程度

※通常はリアルイベントとして実施していますが、今回は感染症対策のため、内容を変更しオンラインによる実施となります。ご取材もオンラインのみとなりますことご容赦下さい。取材をご希望の方には、後日、Zoomリンクをご案内いたします。

実施先：学童保育、放課後子供教室（公設公営及び公設民営）等

内容：

運動が苦手・興味のない子どもたちでも、多様なスポーツについての理解を深め、「スポーツの楽しさ」を体感できるプログラムです。体を沢山動かす中で、スポーツを好きになったり、からだを動かしたいという意識形成のきっかけとなる構成になっています。

当日の流れ：

1. 導入(5分)
2. ジェスチャークイズ：バレーボール、ボクシング、ゴールボール、サッカー
ジェスチャークイズの狙い
 - ・競技に関係のある動きを入れて、競技への理解を深める
 - ・有酸素運動を入れて、オンラインでも運動不足解消ができる運動
3. まとめ(5分)

ご取材申込書

FAX、メールにてお申し込みください。<8月10日(月)〆切>

F A X : 03-6721-5044

メール : press@npoafterschool.org

特定非営利活動法人 放課後 NPO アフタースクール行

8月12日(水)・19日(水) オンライン取材を希望する (計 名)

< 参 加 希 望 日 程 > 8月12日(水)・8月19日(水)

< 貴 社 名 ・ 部 署 名 >

< 媒 体 名 >

< ご 芳 名 > (計 名)

TEL : FAX :

< ご 連 絡 先 > E-Mail : 携帯電話 :

ご住所 :

< 備 考 欄 >

※いただいた情報は出欠確認および今後のイベント情報リリースなどに使用させていただきます。
※配信の写真素材は、弊団体より後日提供いたします。

子どもたちの健やかな成長のために～放課後改革に挑戦～

昨今、学童保育の不足が社会課題として深刻化。子どもにとっての学びある豊かな時間が保証されていない現代の放課後は、子どもたちのチャレンジ意欲や自己肯定感を低下させています。

私たちは、学校施設を活用し、地域の大人＝「市民先生」と共に本物の技や知恵を子どもたちに届けるアフタースクールを展開。また、様々な企業等と協働し、社会全体で子どもを育てることに挑戦しています。(累計100万人以上の子どもが活動に参加)

アフタースクール開校数：21校／連携企業300社以上／市民先生5,000人以上

放課後はゴールデンタイム！  **放課後 NPO**
アフタースクール

本件に関するお問合せ先

特定非営利活動法人
放課後 NPO アフタースクール
久保田、中田

TEL:03-6721-5043

MAIL:press@npoafterschool.org